

磐田市議会  
令和4年度 議会報告会  
実施報告書



## 目次

1	議会報告会の概要	1
	(1) 実施目的	
	(2) 実施内容	
	(3) 報告テーマと担当委員会等	2
2	実施結果	3
	・映像視聴数	
3	アンケート集計結果	4
	・問1～問3	
	・議会報告会についての感想、ご意見	8
	・市議会に対してのご質問、ご意見	9

# 1 議会報告会の概要

## (1) 実施目的

磐田市議会では、市民に開かれた議会をめざし、平成 24 年度より議会報告会を開催しています。

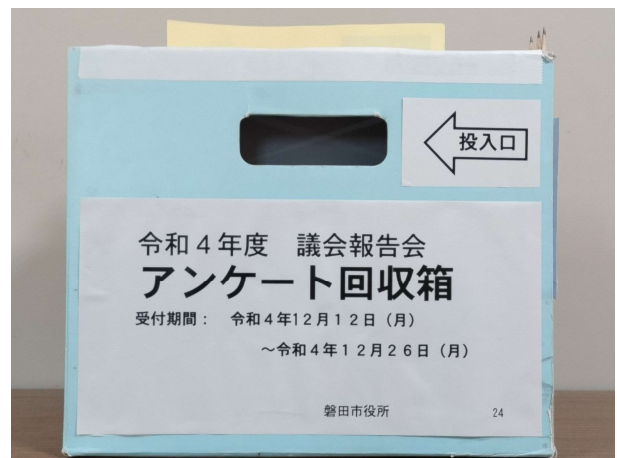
議会報告会はこれまで、交流センターなどの会場で開催しており、会場開催の可能性を検討したものの、令和 4 年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会場での開催を取り止め、感染拡大防止のため「映像配信による議会報告会」といたしました。

## (2) 実施内容

実施項目	期間	方法
映像配信	12 月 12 日 (月) ～	・議会ホームページ上に掲載
資料掲載、 配置	12 月 12 日 (月) ～ 12 月 26 日 (月)	・議会ホームページ上に掲載 ・市役所本庁舎、4 支所、23 交流センターの計 28 施設に配置
アンケート	12 月 12 日 (月) ～ 12 月 26 日 (月)	○用紙による方法 〔用紙の配布〕 ・全戸配布と併せて本庁舎、4 支所、23 交流センターに配置 〔回収方法〕 ・本庁舎、4 支所、23 交流センターに回収箱を配置 ・FAX  ○議会ホームページによる方法 ・議会ホームページに回答フォームを掲載



議会報告会資料



アンケート回収箱

### (3) 報告テーマと担当委員会等

議長 寺田幹根 副議長 芥川栄人

◎委員長 ○副委員長

No.	報告テーマ	担当委員会等	映像時間
1	議長挨拶 ・令和4年台風第15号への対応 ・新型コロナウイルス感染症への対応 ・議会のICTの取組について ・今後の課題への対応	寺田幹根 議長	5分10秒
2	総務委員会報告 ・総務委員会について ・所管事務調査について(災害等対策(議会BCP)) ・所管事務調査について(地域コミュニティ) ・今後の取り組み	総務委員会 ◎小池和広 ○戸塚邦彦 柏木 健 本間昭男 八木義弘 芥川栄人 虫生時彦 根津康広 岡 實	6分13秒
3	民生教育委員会報告 ・学校教育・学校運営について「GIGAスクール構想下の取組について」 ・高齢社会における介護・医療費の抑制策について	民生教育委員会 ◎秋山勝則 ○小栗宏之 加藤公人 鈴木弥栄子 小柳貴臣 加藤文重 鈴木喜文 高梨俊弘	6分46秒
4	建設産業委員会報告 ・建設産業委員会について ・所管事務調査(キャッシュレス社会への対応について) ・所管事務調査(脱炭素社会に向けての取組・支援について)	建設産業委員会 ◎永田隆幸 ○鳥居節夫 平田直巳 山下千賀子 江塚 学 鈴木正人 芦川和美 松野正比呂	7分00秒
5	磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会報告 ・委員会の目的と検討事項 ・委員会の調査検討経過 ・今後の進め方	磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会 ◎松野正比呂 ○小池和広 加藤公人 秋山勝則 戸塚邦彦 鳥居節夫 虫生時彦 鈴木喜文 根津康広	4分56秒

#### ■映像作成の担当

項目	担当
開催挨拶	小柳貴臣(広報広聴委員会委員長)
閉会挨拶 手話通訳録画	江塚 学(広報広聴委員会副委員長)
報告音声 (ナレーション)	寺田幹根(議長) 小池和広(総務委員会委員長) 秋山勝則(民生教育委員会委員長) 永田隆幸(建設産業委員会委員長) 松野正比呂(磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会委員長)

## 2 実施結果

### ○ 映像視聴数

期間：12月12日（月）から12月26日（月）まで

内容	視聴数
① 全体映像（全編）	145
② 報告別映像（担当委員会ごとの映像）	21
・ 開催挨拶	1
・ 議長挨拶	0
・ 総務委員会報告	6
・ 民生教育委員会報告	3
・ 建設産業委員会報告	6
・ 磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会報告	4
・ 閉会挨拶	1
合計（①+②）	166

※部分的な視聴も含む



動画イメージ①

### アンケートご協力をお願い


ご質問、ご意見をお寄せください

■ 議会ホームページから送信  
議会ホームページのアンケートフォームから送信してください。

■ 回収箱に投函  
アンケート用紙に記入し、回収箱に投函してください。  
\*アンケート用紙、回収箱は各交流センター・各支所・議会事務局に設置

■ 受付期間  
令和4年12月12日（月）～令和4年12月26日（月）

いただいたご質問、ご意見、アンケート結果については、議会ホームページ及び議会だよりに掲載する予定です。



動画イメージ②

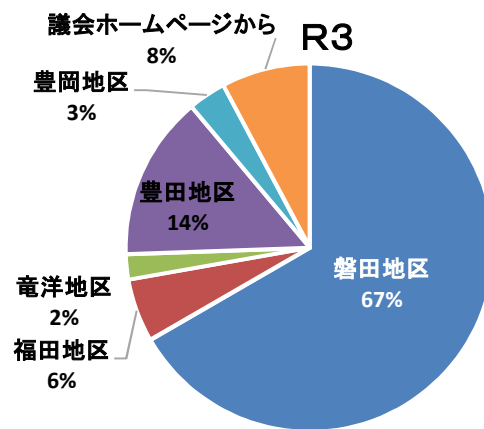
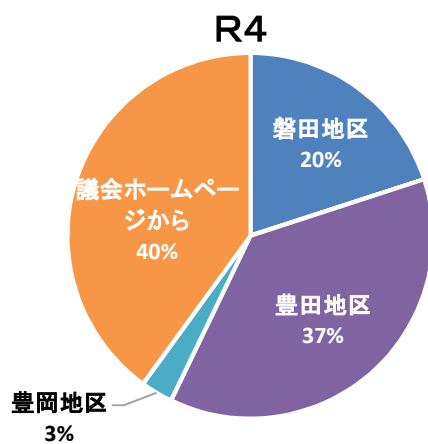
### 3 アンケート集計結果

※令和4年度は35人の方からご回答いただきました。

#### ● 回答をいただいた施設の地区

分類	R4	R3	R2
磐田地区	7	60	16
福田地区	0	5	6
竜洋地区	0	2	4
豊田地区	13	13	2
豊岡地区	1	3	2
議会ホームページから	14	7	15
計	35	90	45

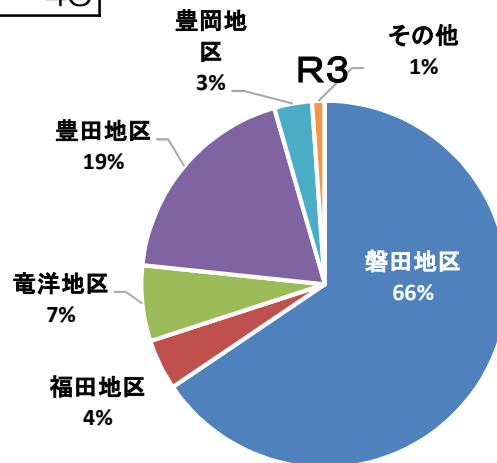
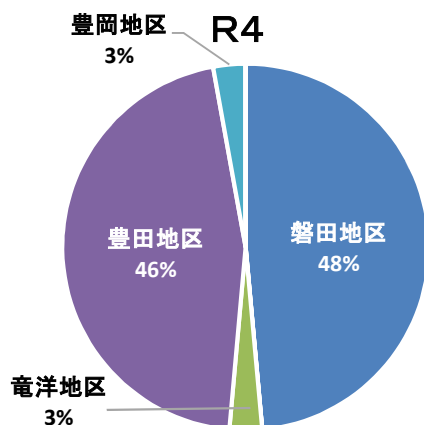
4年度は、3年度比55件減の35件のご回答をいただきました。  
 なお、地区別では、豊田地区が13件で最多となりました。



#### 問1 お住まいの地区

分類	R4	R3	R2
磐田地区	17	59	25
福田地区	0	4	6
竜洋地区	1	6	6
豊田地区	16	17	6
豊岡地区	1	3	0
その他	0	1	0
未回答	0	0	2
計	35	90	45

4年度は、回答件数35件のうち、磐田地区と豊田地区にお住まいの方がそれぞれ17件、16件となっています。

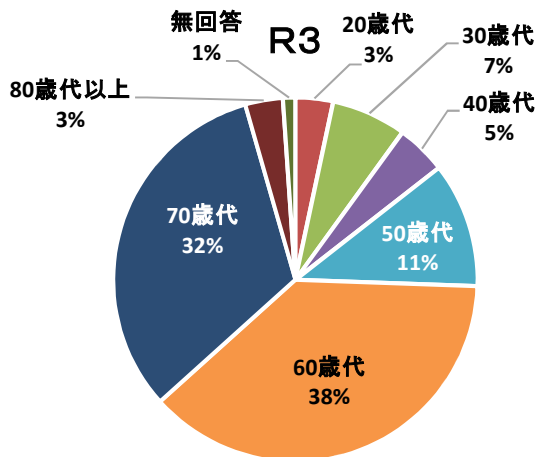
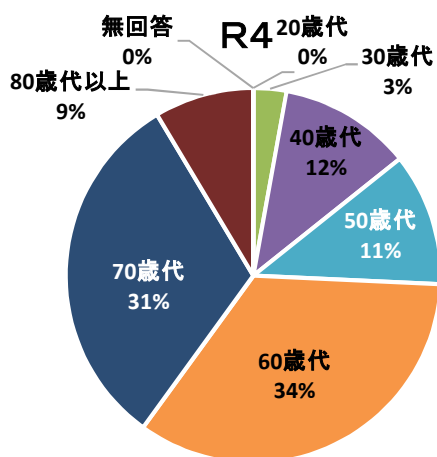


問2 年齢

分類	R4	R3	R2
10歳代	0	0	0
20歳代	0	3	0
30歳代	1	6	2
40歳代	4	4	2
50歳代	4	10	9
60歳代	12	34	14
70歳代	11	29	15
80歳代以上	3	3	3
無回答	0	1	0
計	35	90	45

4年度、3年度、2年度いずれも、60歳代と70歳代の方の回答が多い状況に変化はありませんでした。

4年度は、60歳代と70歳代で全体の約65%を占めています。



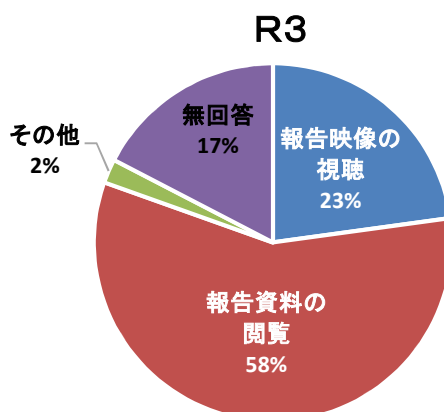
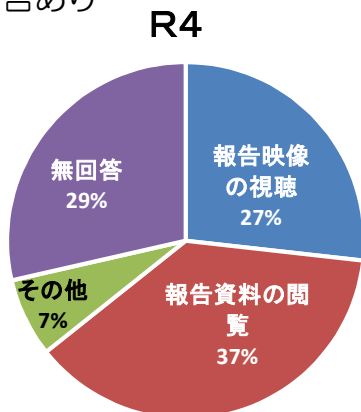
問3 議会報告会について

(1) ご覧いただいた議会報告会の映像、資料について

分類	R4	R3	R2
報告映像の視聴	15	21	27
報告資料の閲覧	21	53	21
その他	4	2	0
無回答	16	16	4
計	56	92	52

4年度、3年度とも、回答された方については、報告資料を閲覧された方が、報告映像を視聴された方を上回りました。

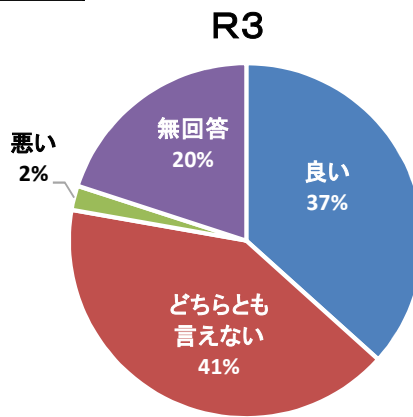
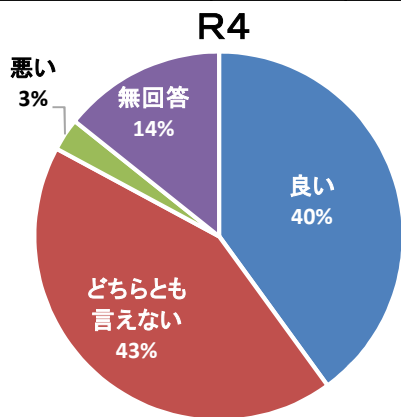
複数回答あり



(2) 映像による議会報告会について

分類	R4	R3	R2
良い	14	33	25
どちらとも言えない	15	37	7
悪い	1	2	3
無回答	5	18	10
計	35	90	45

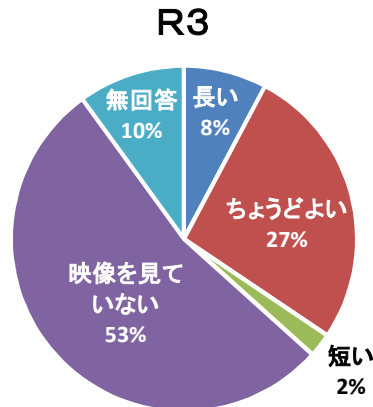
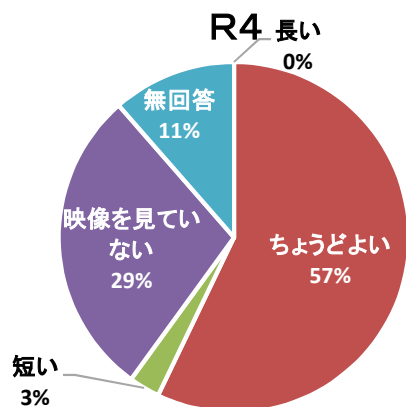
4年度は3年度と同様、「よい」と「どちらとも言えない」がいずれも約40%となりました。



(3) 報告映像の時間

分類	R4	R3	R2
長い	0	7	10
ちょうどよい	20	24	22
短い	1	2	1
映像を見ていない	10	48	0
無回答	4	9	12
計	35	90	45

4年度は「ちょうどよい」とのご意見が約60%を占めました。





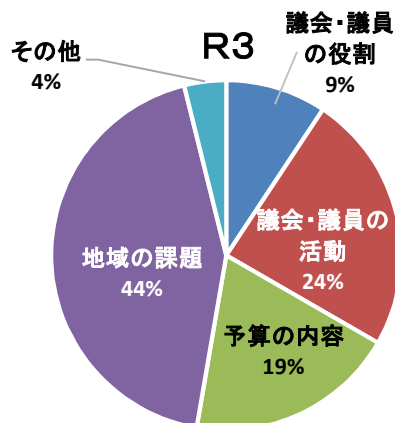
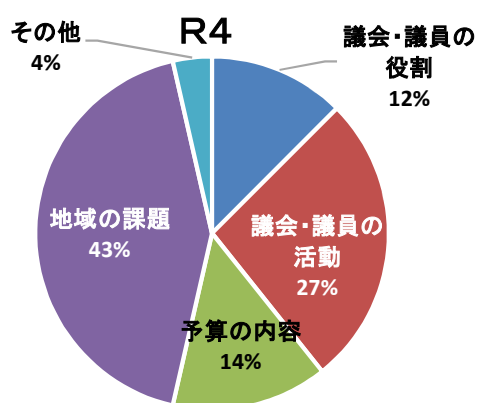
(4) 今後の議会報告会でテーマにしてほしいこと

分類	R4	R3	R2
議会・議員の役割	7	12	9
議会・議員の活動	15	31	24
予算の内容	8	25	8
地域の課題	24	56	34
その他	2	5	1
計	56	129	76

4年度から2年度まで割合に動きはあるものの、「地域の課題」「議会、議員の活動」が上位となっています。

4年度も3年度と同様、「予算の内容」が3位となりました。

複数回答あり



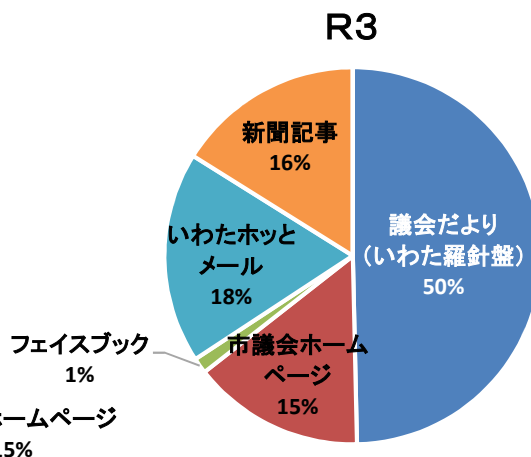
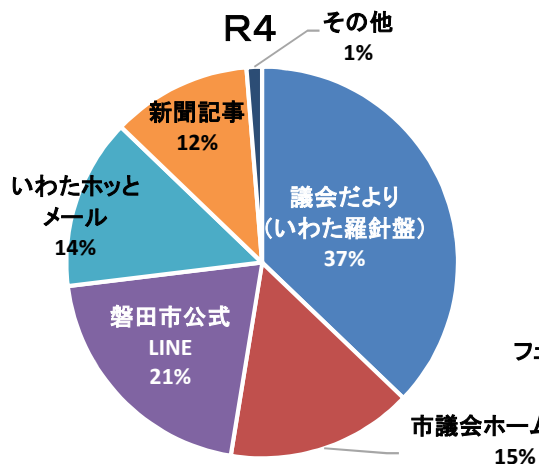
(5) 市議会の活動について情報を得る手段

分類	R4	R3	R2
議会だより(いわた羅針盤)	29	74	40
市議会ホームページ	12	22	11
フェイスブック		2	2
磐田市公式LINE	16		
いわたホッとメール	11	27	9
新聞記事	9	24	16
その他	1	0	0
計	78	149	78

4年度、3年度、2年度のすべての年度で「議会だより(いわた羅針盤)」が最多となっています。

4年度から「磐田市公式LINE」による配信をはじめており、2位となっています。

複数回答あり



## 議会報告会についての感想、ご意見

(感想、ご意見は原文のまま)

- 今後も住みやすい磐田市になる様に頑張ってください。
- 高齢者の介護や医療・地域の困りごとなどを抱えるようになり、今回初めて報告会資料をみさせていただきました。改めて、これらのことは自分事としてとらえていく必要があると思いました。
- 市街化調整区域の見直し。補助金の活用方法←物価上昇における
- 近年どんどん広報誌が見やすくなっていて嬉しいです。また、市長の動きがニュースで取り上げられることも間々あり、頑張ってくださいということが分かり磐田市を誇らしく思います。
- 災害支援の様子もよく分かりました。
- 今日 LINE で来た交通状況を報告するシステムもとてもありがたいです。
- 一市民から、日頃の困ったことや過ごしにくいことを行政に伝える手段が難しく、最近ではネットツールが最適かと思います。また、目安箱のように書いて投函できるものも良いと思います。
- 先日ニュースになりましたが、大阪？の学生からの SOS が、市役所に直通の切手無しでよい葉書であることも素晴らしいと思いました。磐田市でも検討をお願いしたいです。

## 市議会に対してのご質問、ご意見

(ご質問、ご意見は原文のまま)

議会報告会の実施にあわせアンケートを実施したところ、様々なお質問、ご意見をいただきました。ご質問、ご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

### ■議会・議員活動について

(ご意見)

市長が変わり、明確に市政が良くなっていると感じます。市民文化会館跡地の市民が集える公共の場については、市議会ですっかり議論していただきたい。中心部に市民文化会館がなくなりホールが 240 席ほどのワークピア磐田では心もとない。今の浦公園くらいスピード感をもって対応していただければと期待しています。

(回答)

旧市民文化会館跡地の利活用については、議会としても関心をもって取り組んでいるところです。令和4年11月定例会における代表質問においても取り上げられ、当局から「台風15号による今之浦地区の被害状況に鑑みゼロベースで考えていく」との答弁がありました。

今後とも、当局の対応を注視してまいります。

また、市議会では、公共施設の適切なマネジメントに関する市民相互の共通認識を深めるため、磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会を設置しています。地域のみならず市全体としての視点をもって、旧市民文化会館跡地などの公共施設等の在り方の検討を進めていきます。

(ご意見)

議会報告として報告されている内容は、今後調査協議していくというものが多く、実際それによってどうなったのか、どうしたのかという結果が見えません。調査の途中経過の報告もしていただきたいですが、議会ですんなり審議をしたのが教えて欲しいです。議会の傍聴やネット中継などからも知ることができるかもしれませんが、私たちに身近な内容がどんな話し合いによって決定されたのか分かりやすい映像で報告してもらいたいです。

(回答)

議会の審議内容については、議会だより「いわた羅針盤」に掲載していますが、紙面の都合もあり、一部にとどまっています。市議会としても、活動内容をお知らせして議会に関心を持っていただくことは大切であると認識していますので、今後、この議会報告会などにおいて審議内容のわかりやすい報告ができないか、検討を進めていきます。

(ご意見)

最近は SNS が多いので老人にも分かる報告を。

(回答)

4年度の議会報告会は、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮する中で、会場開催に代わり動画を活用して開催することとしました。4年度は動画を活用して開催しましたが、市議会について幅広い世代の方に関心を持っていただくことは大切であると考えています。5年度以降の開催にあたっては、より多くの方が参加できる方法で、かつわかりやすい報告ができるよう、検討を進めていきます。

(ご意見)

建設的な意見を、議会外でお持ちの方もたくさんおられると思いますので、声を吸い上げる機会を、なんとかご検討いただきたいです。変なことを書いて投函したりする方々もでてきたり集計するのも大変になると思うのですが、伝えられないのであれば議会も政治も一般市民にはとてもとても遠く他人事です。どうかご一考いただけますようお願いいたします。

(回答)

市議会では「市議会ご意見ポスト」として、本庁舎に紙ベースの提出箱と、市議会ホームページトップ画面に入力フォームへのリンクをご用意しています。どちらも、回答を希望されない場合は無記名で提出することができるようになっていきますので、市議会へのご意見はこれらをご利用ください。

また、当局へご意見をお寄せになりたい場合、市政についてのご提案については、市ホームページ上に「市長への提案箱」として入力フォームへのリンクが用意されるなどしていますのでご利用ください。

(ご意見)

答弁者の背景 バックボーン注記 出身校、職種、家庭環境など。

(回答)

答弁者の背景を知るためのバックボーン注記については、実施にあたりプライバシー保護についてなどに配慮する必要があり、難しいと思われま。

## ■総務委員会に関する内容について

(ご意見)

自転車についての交通ルールについての最近の変遷については、どこかで一度国民に向けてきちんと全て細かく啓発すべきことかと思えます。誤った認識で勘違いのまま事故になりかねないこともあるかなと思えます。

(回答)

磐田警察署、交通安全協会磐田地区支部と市の担当課が連携し、周知啓発に努めていると認識しています。市議会でも、磐田市議会だより 12月号で交通安全をテーマに特集を掲載するなど周知啓発に協力をしているところです。

(ご意見)

バス会社に援助し、交通網確保さて欲しい、市内の網を右回り、左回り網確保してほしい、市立病院にいく路線を増やし、便利さがほしい。

(回答)

本市では、民間バス会社への補助を行っており、磐田市立総合病院へのアクセスは、デマンド型乗合タクシーでカバーしていると認識しています。今後も持続可能な公共交通網が維持できるよう、策定中の地域公共交通計画の内容や地域公共交通会議での協議を注視してまいります。

(ご意見)

ラポートと協議して避難場所にしてはどうか？

地震及び水害等に安全である事。東名に側道をつけてもらい健常者は徒歩でいき、老人・障害者は各自治会が把握している為その人達は車で移動する事

(回答)

現在、津波避難施設の民間施設を除き、公共的な施設を避難場所として災害種別により設定しています。民間企業様の協力のもと成り立ちますが、大型商業施設の場合は、お客様がいる中での想定になりますので課題が多いと考えます。自らの命は自ら守るを原則として避難への考え方など市民の皆様への周知が重要と考えます。

(ご意見)

交流センターを大雨、土砂災害の時、避難場所として活用（利用）できるようにご検討をお願いします。

(回答)

一部の地域で、洪水時における指定避難場所を交流センターに設定しています。その地域における安全な公共施設であると考えておりますが、管理や職員の配置、連絡の在り方、災害種別での考え方等課題が多くあります。地域の方々の合意も必要と考えます。

(ご意見)

台風 15 号の浸水被害対策も当然必要だが、大地震時の河川津波対策も、最悪の事態を想定して進めていきたい。

(回答)

防潮堤工事は、市施工分にあっては令和 8 年度末完成を目指しております。完成後に想定される被害を検討する必要もあるかと考えます。河川も様々に管理者がありますので、国や県と連携を取り検討していくことが重要と考えています。

(ご意見)

投票率の向上のための議論・施策を

県下一・全国一の投票率の元で選出された議員であることを誇れる・胸を張るために、投票行動を全面的に見直したい。

(回答)

選挙管理委員会で啓発事業等を推進しております。市民の皆様の政治への関心を持っていただくためにも、市議会としても広報・広聴活動及び活性化に向け努力をして、開かれた議会活動を推進していきます。

## ■建設産業委員会に関する内容について

(ご意見)

海洋プラスチックごみ対策を市の主要施策に

海洋に流れ出てしまったプラスチックごみをイベント等として拾うよりも、河川・水路の路線図を明確にして日常的に上流で地域で回収するシステムを考えたい。

(回答)

市の担当部署に確認したところ、ペットボトルなどの不法投棄されたごみは市民や職

員によるパトロールを実施して削減に努めており、ごみ削減に向けて、市民への意識啓発を図るため、3R（スリーアール）や食品ロス削減の推進についても、今後継続していくとのことでした。また、ご意見にありました取組についても、市民意識の向上策とともに検討していきたいとのことでした。

議会としても、今後の環境施策の取組を注視してまいります。

（ご意見）

祝川、一部は清掃してもらいましたが、全体的に樹木の除去と川底の清掃をお願いします。

豊田川流路の改善。祝川の植生の除去。流れの抵抗になる。

（回答）

市の担当部署に確認したところ、県管理河川の祝川については、令和4年10月中旬に地元自治会から雑木伐採と清掃（浚渫）について要望があったため、豊田地内の雑木伐採を実施、令和5年1月に完了したとのことでした。また、令和5年2月時点において、令和5年度における祝川の樹木の伐採や川底の清掃（浚渫）等の計画はないようですが、自治会から要望等があれば、他河川との兼ね合いもあり優先順位を付けての対応になるものの、必要に応じて対応していくと県より回答があったとのことでした。

また、市管理河川の豊田川流路改善については、令和2年度から河川の法面コンクリート化等の改修工事を進めているとのことでした。

議会としても、河川等のインフラ管理について注視してまいります。

（ご意見）

人口を増すためには、土地の有効利用を討議を

（回答）

本市では人口減少を加速させないため、JR各駅周辺を都市拠点、各地区中心部（旧市町村）を地域拠点と位置づけ、都市機能・居住誘導区域を設定し、生活の利便性の高いコンパクトなまちづくりを考えています。

市街化調整区域については、地区計画を活用した住宅の確保や使用されなくなった住宅・事務所等の有効活用も進めています。また雇用を確保するため、工場や大規模流通施設の立地を促進することにも努めています。

今後も本市に移住・定住する人が増加するよう、議会としても取り組んでまいります。

磐田市議会

令和4年度 議会報告会実施報告書

発行日：令和5年3月2日

編集：広報広聴委員会

委員長 小柳 貴臣

副委員長 江塚 学

委員 本間 昭男

八木 義弘

芥川 栄人

虫生 時彦

根津 康広